



□ 8級、7級、6級の審査について

8級、7級、6級の実技審査は基本打ちによる審査を行います。  
実施内容は以下の通りです。

- (1) 審査は1名ずつ行い、礼法は実技と同様に終了の礼と開始の礼を同時に  
行います。(各級の最初と最後の受審者は1名で礼を行います。)

(審査員)

○— —○

(元) (受審者)

- (2) 基本打ち

8級： 切り返し → 面 (5本)

7級： 切り返し → 面 → 小手面 → 面 → 小手面 → 面

6級： 切り返し → 面 → 小手面 → 面、体当たり引き面 →  
面、体当たり引き胴 → 面

- (3) 立会いの合図

立会いの合図「始め」により、上記の技を連続して実施します。

基本打ち終了後、立会いの合図「それまで」で蹲踞します。

受審者へは、各級の基本打ちの順序を十分ご指導お願い致します。

- (4) 基本打ちの審査時に、子供の元立ちが必要となります。

申込状況によりますが、2級の受審者の中から2名選考させていただきます  
ので、ご協力のほどよろしくお願ひします。